

第37回特別企画展「カイジウ博 2023－海で暮らす仲間たち－」 開催！

カイジウ、 豊橋上陸。

海洋には100万種以上の生物が生息し、独自の生態系を築いています。海洋生態系の頂点を占めているのが、クジラ・アシカ・ラッコといったカイジウ(=海獣、海棲哺乳類)です。

本展では、自然史博物館がこれまでに収集してきた瀬美半島沿岸に漂着した数多くのクジラの標本を初公開するとともに、迫力満点の巨大クジラの頭骨(2.3m)やアシカ・ラッコの剥製など約200点の標本を通して、カイジウの多様性、カイジウと日本人との関係について紹介します。また、カイジウを始めとする海棲生物の生存を脅かしている海洋プラスチックごみの現状についても紹介します。

会 期：令和5年7月14日(金)～同年9月3日(日)
会 場：豊橋市自然史博物館 特別企画展示室
展示資料点数：約200点
観 覧 料：大人700円、小・中学生300円、未就学児無料
※豊橋総合動植物公園入園料が別途必要



豊橋にも、巨大カイジウ漂着！

マッコウクジラ



キミは一体、
何者？

ミナミセキクジラ

提供：(一財)日本鯨類研究所

※2015年(平成27年)、豊橋市高塚町に漂着した全長約15mのマッコウクジラも初公海！

特別協力：船の科学館「海の学びミュージアム」

船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

海と日本
PROJECT

問合せ 総合動植物公園 自然史博物館 主幹 浅野、主任学芸員 安井
電話 41-4747

【関連行事】

【記念講演会】

日時	タイトル	講師	内容
7/29 (土) 14:00~15:30	渥美半島表浜の漂着物	林 重雄さん (漂着物学会員)	20年に渡る表浜での漂着物調査の成果と漂着物にまつわる話題を紹介します。
8/5 (土) 14:00~15:30	海岸に打ち上がるくじらからのメッセージ	田島木綿子さん (国立科学博物館研究主幹)	各地の海岸に漂着するクジラ類の調査から判明したその生態と地球環境の危機について、TVでも大活躍のクジラ博士が紹介します。

※いずれも自然史博物館講堂にて、定員 60 人、当館ウェブサイトから事前申し込みが必要

【ワークショップ】

日時	タイトル	定員	内容
8/1 (火) 14:00~15:00	砂の中から微小貝を探そう	30人 当日先着順	貝殻の入った砂の中から小さな貝を探します。
8/2 (水) 13:00~14:00	チリモン探し体験	30人 当日先着順	シラスに混じって漁獲された小さな生き物を探します。
8/11 (祝) 10:00~12:00	クジラの骨を洗おう	10人 往復はがきで	骨格標本作製中のマッコウクジラの洗骨作業を体験します。
8/19 (土) 10:00~12:00	クジラの骨を洗おう	10人 往復はがきで	骨格標本作製中のマッコウクジラの洗骨作業を体験します。

※いずれも自然史博物館講堂にて

【トークショー】

日時	タイトル	定員	内容
7/22 (土) 15:30~16:00	コリコ田中さんと学ぶ！ 豊橋のくじら～海洋プラごみから海を守ろう～	80人	豊橋沿岸に漂着したクジラ類を調査して分かったことをコリコの田中直樹さんと一緒に学びます。

※自然史博物館講堂にて、当館ウェブサイトからの事前申し込みが必要



◎記念講演会、ワークショップの申し込みは、既に開始しております。トークショーは6月8日(木)から、申し込み開始です。

最新情報は当館ウェブサイトからどうぞ！

<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

